

## 令和2年度 自殺対策推進協議会（書面開催） 報告

### （1）自殺の現状と関連する状況について

番号	委員からの意見	事務局コメント
1	全国・東京都の自殺者の状況がわかり良かったです。あきる野市はなぜ増減しているのかなと思いました。緑豊かな地で地域とのふれあいが減っているからなのか、と感じました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県単位のように人口が多い地域でみれば傾向として見えるものが、人口が少ない地域でみると増減して見えることもありますので、おおまかな傾向としてつかみ評価していきます。</li> </ul>
2	①人口動態統計からはH30年と少し古い感じを受けた。p3の②「自殺統計から」コロナがどう影響（自殺に対して）を与えるか、関心を持たた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や都が発表している市民の出生、死亡などを示す人口動態統計は、公表に2年程度の時間がかかっています。</li> <li>・一方、住民票ではなく市内に住居地がある方の自殺を示す警察庁が公表している自殺統計は、およそ数ヶ月後に発表されます。それぞれの特性を踏まえ、自殺の現状の分析を進めています。</li> </ul>
3	自殺される方がいることが残念です。児童・生徒の自殺者が過去最多で5月まで休校で6月スタートの影響もあったかと、とても残念です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや若者の自殺の発生には、学校の始業と休業や、仕事環境の変化など、時季が関係していると言われていています。背景には何かしらの要因があるかと思っていますので、そこに至るまでの過程で解決への支援ができればと思います。</li> </ul>
4	若年層の増加は気になります。特に小中校生の自殺は止めたい。「ウエルテル効果」とはこまった物です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭で、学校で、職場で、気づき合い支えあう意識を多くの市民や機関・団体と共有していければと考えます。</li> </ul>
5	令和2年度の自殺者数の増加は、新型コロナウイルス感染症の拡大に起因することが想定されます。そのような中でも、自殺につながらないよう、感染防止対策を行い、それまでの人のつながりを維持する取り組みが必要であると思います。また、有名人の自殺は、自殺者を増加させる引き金になることから、報道等を含め十分配慮すべきではないかと思っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナへの不安や自粛生活で人とのつながりが希薄になっていることが心とからだの健康に影響していることから、テレビ等でも日頃の健康管理に関する情報が流れるようになりました。</li> <li>・健康課では、市民と協働ですすめている「めざせ健康あきる野21」推進会議（21StepⅡ）の取組として、「コロナパンチ！大作戦!!」と称した家庭でできる健康づくりを勧めてきました。各々の健康づくりも市民のつながりを感じることができるよう事業を実施しています。</li> <li>・4月からは、中止していた「地域イキイキ元気づくり事業」を感染対策をとったうえで再開します。お住まいの身近な人同士が「思いあい つながりあい 支えあう」きっかけともなりますので、引き続き地域の協力者の皆様のご協力をお願いいたします。</li> </ul>

番号	委員からの意見	事務局コメント
6	<p>【2020 (R2) 年の自殺数の統計的分析】 1月～11月（東京都・あきる野市は11月までのデータ）の地域相関（スピアマンの順位相関係数）</p> <p>全国：東京都 rs=-0.21：ほぼ関連はない            全国：あきる野市 rs=0.37：弱い関連がある            東京都：あきる野市 rs=-0.04：関連はない</p> <p>⇒2020年におけるあきる野市の自殺数は東京都よりも全国と似た傾向を示している。そのため、あきる野市の自殺対策は東京都の同対策と異なる独自性が求められるかも知れないし、その独自性が本当にあるならば、それを抽出する必要もある。ただし、データが1月から11月までの11コしかないの、過去のデータや未来のデータでの相関は保証できない</p> <p>【俳優・女優の自殺による影響】 俳優の自殺により、男性女性共に20歳の自殺が増加している。女優の自殺により、女性の場合は20歳代、30歳代、40歳代での自殺が増加している一方で、男性の場合は30歳代、40歳代での自殺が増加している。 ⇒亡くなった有名人のファン層が影響を受けやすい。なお、この所謂ウェルテル効果は、コロナ禍と結びつけたくなるが、これはコロナ禍に関係なく過去にも見られる現象なので、そうとも・そうでないとも言えるのでコロナ禍と関連づけるには慎重さが求められる。</p> <p>【DVと自殺との関連】 2020年4月～10月までのDV相談件数と全国の自殺者数とにまったく相関はみられない（データ数が少ないので過去や未来のデータでどうなるかは不明）。 ⇒コロナ禍によりDVは増加傾向にあるが、自殺と関連があるとは言えない可能性がある。</p>	<p>・統計的分析をいただきありがとうございます。ご指摘いただいたあきる野市が全国と似た傾向という点については、あきる野市の人口構成（年代区分）が東京都よりも全国に近いことから考えられますが、自殺の原因・動機は複雑に連鎖していると言われておりますので、自殺の背景を多様な切り口でみていきたいと考えます。今後も分析やご意見をお願いいたします。</p> <p>・なお、市の自殺者を示す統計（人口動態統計及びは10～20人前後で数値が少ないため、市の傾向をみるために過去5年間の平均で分析ができればと考えます。</p> <p>・「相次ぐ有名人の自殺が社会に与えた影響」や、「DV相談件数の増加」については、厚生労働省の「自殺総合対策の推進に関する有識者会議」で説明されています。今後も国や専門機関の調査・研究に注視し、社会情勢に合せた市の取組を検討し進めていきます。</p>
7	<p>・自殺報道に関わる「年代別自殺者数の変化」が7/18分は男性上、女性下で、9/27分は女性上、男性下なのは意味がありますか？他、9/27分男性も40代が多いですが、それは円で囲まないのですか？</p>	<p>・それぞれ同性、同世代に、また、ファン層に影響している可能性が考えられます。</p> <p>・なお、資料上の円の囲みについては、出典した資料の画像をそのまま添付していますのでご了承ください。</p>

番号	委員からの意見	事務局コメント
8	<p>コロナ禍により、生活保護、住居確保給付金、生活困窮の相談が増加しており、ハローワークでも市と連携した支援を行っている。今後もいっそう連携をとり、問題の解消に取り組んでいきたい。</p>	<p>・生活困窮で悩む方をはじめ、就職に関する悩みをもった方が、一人で悩みを抱え込んで追い込まれていくことにならないよう、引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。</p>
9	<p>この1年間若者の自殺者数が増加しているのは、新型コロナでの孤立感やもともと愛着障害をもつ子供達が多く、友人との関わりの減少などから多くの子供達が不安と絶望感を抱いているようです。このデータは、都立高における情報交換や全国の高校教員仲間との情報交換で集められた意見です。あきる野市内にも同様の状況があり、ギリギリの子供達が混在していると思われます。このことは昭島・八王子・立川等の子供家庭支援センターの情報とあきる野市の情報が異なるケースが多く、今後動向を見たいと思います。</p>	<p>・資料にもあるように、令和2年の警視庁の自殺統計（全国）で、小学生、中学生、高校生のいずれも前年を上回り、特に女子高校生が顕著に増加しています。その背景に関する資料はなく原因・動機はつかめませんが、成長期の心の問題には、家庭や学校、友人関係などが影響しており、一人ひとりに丁寧な対応が求められると考えます。</p> <p>・今後も生徒にとってよりよい支援体制となるよう、学校と市関係部署の連携を進めていければと思います。</p>
10	<p>資料1の「市自殺対策推進計画（本書）では、自殺者の現状として～」の部分には「市自殺対策推進計画（本書）では、自殺者の現状として人口動態に基づき自殺者数・その内訳を記載していましたが、東京都から情報の提供を受けることができなくなったことから、西多摩保健所のアドバイスにより厚生労働省の「地域における自殺の基礎資料」（自殺統計（警視庁））を使用することとしました。」に変更できますでしょうか。</p>	<p>修正いたします。</p>
11	<p>資料1について  <b>【表記の問題NO. 1】</b>  (1)の枠内記述ですが、★の付いた1行目に「・・・自殺統計（警察庁）について・・・」と括弧内に略記の説明があり、それ以降3行目まで「自殺統計」と記述されている。  ところが、4行目で、また改めて「・・・警視庁の自殺統計（以下警察統計）・・・」と括弧内に略記についての説明がされています。しかし、資料1では、「以下」とありながら、それ以降「警察統計」という文言は見られない。  <b>【表記の問題NO. 2】</b>  同じく(1)資料1の枠内記述で下から2行目の末尾により「・・・可能性があること踏まえ・・・」の箇所は「・・・があることを踏まえ・・・」のように「を」が必要である。</p>	<p>・記載内容を訂正いたします。  表記の問題NO. 1について ⇒（以下警察統計）を削除  問題No. 2について ⇒ 「を」を追加</p>
12	<p>・★より7行下、可能性があること踏まえ。「を」が抜けていますか？</p>	

(2) 庁内の自殺対策推進の取組状況について

番号	委員からの意見	事務局コメント
1	コロナの影響が大ですね。	
2	コロナ禍で活動が制限されたのはしかたないです。	
3	<p>資料2について  <b>【資料2-①：コロナ禍におけるあきる野市（民）の自殺に対する関心度】</b>            2020年のあきる野市における自殺者数を見ると、コロナ禍の影響をまろに被った状況と言えるほど顕著な数値の変動は確認できない。したがって、あきる野市（民）の自殺に対する関心がコロナ禍と直結しているとは考えにくい。            その結果、自殺問題はコロナ禍で優先される順位として低くなり、資料を見る限り何らかの包括的パンフレットの一部分に掲載される程度であるのは致し方がないのであろう。また、コロナ禍により、対面の各種研修や啓発活動が制限されているのも仕方ない状況である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度においても今しばらくの間は、庁内の各事業がコロナの感染者数やワクチン接種状況を見ながらとなるかと思われませんが、再開に向けてできることから取り組んでいきます。</li> <li>市民及び庁内の職員の問題意識を高めることは、周囲の気づきとサポートにつながりますので、今後も周知・啓発に取り組んでいきます。</li> </ul>
4	<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生活困窮者の増加により、生活の不安や人間関係に影響することがわかった。今後も、相談窓口として一人でも多くの人話を聞いていただきたい。それが少しでも自殺者を減らすことにつながるのではないのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>窓口での対応は、困っている方に適切な支援ができるよう、困り事を把握すると共に、訴えの背景、心の状態に気づき支援につなげられる役割を担います。</li> <li>昨年8月に、いのち支える自殺対策推進センターが作成した相談対応で留意するポイントを健康課でシートにして各窓口配布しました。各窓口職員の意識の共有とスキルアップを図っていきます。</li> </ul>
5	<p>庁内の相談対応状況においては生活保護相談が減少、子ども家庭支援センターでの相談は横ばい、教育委員会の教育相談が減少する中、生活困窮者自立相談が前年に比べ3.6倍となっています。相談項目が把握できた場合、生活保護等の相談が生活困窮の窓口で流れているのか、純粋に生活困窮に関する相談が増えているのかが分かるようになると思います。また、相談項目を分析することにより庁内連携の在り方も分かるようになるのではないのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活困窮の相談窓口は生活保護窓口と横並びで、同じ生活福祉課になります。相談者の状況に合せ支援に関して情報提供しつなげています。</li> <li>生活困窮者自立相談の相談内容の分析については担当課にお伝えし、その内容に応じた連携を検討いたします。</li> </ul>

番号	委員からの意見	事務局コメント
6	<p>近年、自殺願望を抱く子供達が増えている傾向にあります。その中で犯罪との関連性も重視しなければならないと思われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺願望のある子供をネット（SNS上）で誘い殺害するケース。</li> <li>・自殺願望はあるものの、そこまでの実行力がなく、集団の中で実行するケース。</li> </ul> <p>このようなことも考えて取組みをしなければと思いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺願望を持つ人がネット上でつながり、犯罪や自殺に至る事件が今でもニュースとなります。警察の方々の犯罪防止の取組を期待するとともに、そこに至るまでの過程において自殺のリスクとなる要因解決の支援の重要性について、関係機関、関係団体の皆様と共有していければと思います。</li> </ul>
7	<p>その取組は各部署でも一所懸命にやっていると思いますがチラシ等を見ない人たちも多いのではないかと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシは目に付きやすい表記になるよう心がけるとともに、掲示板、インターネットによる配信など様々な方法で情報提供をしていきます。引き続き地域の方々へのお声かけをお願いいたします。</li> </ul>
8	<p>教育相談所は、現在でも「担当が不在なので、お話は何えません。」という対応でしょうか？高齢分野では、記録を見ながら、日頃のシェアリングをしながら、担当不在時でも、他の職員が話を聴きます。助けを求めている母親達のSOSを受け止めてあげて頂けると良いのではないかなと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘について、現在の相談対応について確認したところ、担当者が不在時の相談については、相談者の意向を確認し、希望がある際は他の職員で対応をしているとのことです。</li> <li>・相談窓口を持つ部署では、担当者が不在の場合や昼休みの時間等でも相談される方が困ることがないように体制を整えています。</li> </ul>
9	<p><b>【資料2-②：コロナ禍に影響を受けないいじめの問題】</b></p> <p>4.の「一人ひとりが安心して生きることへの支援」では、教育相談事業やスクールカウンセラーの相談内容についても、「健康に関する相談状況」のように主要な分類を提示してほしい。子どもの場合は、コロナ禍に関係なく、自殺リスクとなる「いじめ」の把握が重要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当課にご意見をお伝えするとともに、いじめの把握や情報提供について確認いたします。</li> </ul>

### (3) 今後の自殺対策の推進について

番号	委員からの意見	事務局コメント
1	<p>資料3について  <b>【商工振興課・生活福祉課の取り組みについて】</b>            言わずもがなであるが、飲食や観光関連事業者へは直接・間接的経済的支援が何よりも優先され、それが自殺防止につながるが、あきる野市独自の経済的支援策は検討・実施されているのであろうか。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策に関する市独自の経済支援策は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あきる野市事業者緊急支援給付金」：新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が減少している市内事業者への給付金の支給</li> <li>・「あきる野市中小企業チャレンジ支援奨励金」：新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるために、国や東京都等の補助事業を活用し、新商品・新サービスの開発、設備投資等の新たな取り組みに挑戦する市内事業者に対し、事業全般に広く使える奨励金の支給</li> <li>・「あきる野市新しい働き方の拠点モデル整備事業補助金」：新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワークやワーケーションの導入などの多様な働き方への変化に対応するとともに、空き物件の有効活用を図るため、市内の空き物件を活用して新しい働き方の拠点として整備し、市においてモデルとなる事業として公開できる事業者等に対し補助金を交付</li> <li>・「あきる野市創業・就労・事業承継ステーションBi@Sta事業者向け特別相談窓口における経営相談</li> </ul>
2	<p><b>【子ども政策課の取り組みについて】</b>            子ども学習支援事業の拡充は、子どもの成長にとって大きく寄与するばかりではなく、この取り組み自体がいじめなどによって自殺に傾いている児童のゲートキーパーになることも期待される。</p>	<p>・子どもへの様々なアプローチが子どもの居場所や周囲の支援を得る機会となり、心の安定につながると考えます。</p>
3	<p>ゲートキーパー・各種啓発のリーフレットを配布して自殺対策の取組などについて周知をしていただきたい。</p>	<p>・現在も庁内各相談窓口でストレスチェック及び相談窓口チラシを設置しています。今後も庁内で配布物を共有し様々な場所で周知をしていきます。</p>

番号	委員からの意見	事務局コメント
4	<p>庁内の連携にとどめず、健康課で作成した「一人ひとりがいのちを守る門番（ゲートキーパー）に」にあるように、市民へ広める取り組みが大切だと思います。社会福祉協議会にも上記チラシが配付されたことから、新型コロナウイルス感染症防止のため、活動が滞っているふれあい福祉委員会へ周知し、できる範囲の声かけ・見守り活動を依頼しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご協力いただきありがとうございました。今後も多くの市民の皆さんとその意識を共有できるよう、周知啓発に取り組みます。</li> <li>・周知啓発にご協力いただける機会がありましたらお声かけをお願いします。</li> </ul>
5	<p>子供達の自殺願望の多くの原因は家庭にあると考えられます。「愛着障害」「広汎性発達障害」「自閉症」など中々難しい障害をもつ子供達が近年増加しています。これらの症状をもつ子供達と自殺との関連性は今後重要な課題だと考えられます。是非これらのことも意識して取り組みをして頂ければと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各家庭が抱える様々な問題を早く解決していくための支援が重要です。</li> <li>・年齢問わず、人との関係を築くことが苦手な方やそのご家族に対し、困難なことを乗り越えるための支援を適切な時期に受けることができることが大切です。当事者の方々への支援に加え、周囲が気づき、つなげるゲートキーパーに関する啓発を進めていきます。</li> </ul>
6	<p>庁内連携の好事例を庁内連絡会で共有できると庁内連携の重要性を認識できるかと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の会議内容として検討させていただきます。</li> </ul>
7	<p>うつの人に出会っても注視して見守ることしかできない。話を聞いてあげてもひとりになると突発的行動に及んでしまう。過去に経験する。いじめ、DVなど機関ではかかわれない所で悲惨な目に合っている状況。もう一歩踏み込んだ施策が出来ないのか。あまりに法則にしばられている気がする。新聞等でもいじめられている事を話しても真剣に取り組んでいるのか、と思うことが多い。苦しいから訴えているのに。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親身になって困っている方々の気持ちに寄り添ってのご意見と思われる。「身近に困っている方に思いを寄せ、できる支援を考えただけの人がいる」ことは、市の自殺対策がめざすところと思います。</li> <li>・一方で、周囲でできることにも限界があります。健康課ではどんな支援ができるのかと悩む支援者の方からの相談も実施していますのでご利用ください。</li> </ul>

番号	委員からの意見	事務局コメント
8	<p>【健康課の取り組みについて】</p> <p>市民のゲートキーパー啓発活動は自殺予防対策として重要と考えられるが、相談のプロではない市民に「あるある」な問題として、対象者との適切な心理的・物理的距離の確保の難しさがある。</p> <p>プロのカウンセラーがプロとしてやっていくための大前提は、時間や場所の限定というルールである。このルールでお互いを守ることができないと、対象者の依存を助長することになり、支援者は対象者との関係が負担となり、支援に消極的となりやすい。</p> <p>ゲートキーパーとして支援を継続するためには、支援のルールによって互いに守られている必要がある。そこで、市民ゲートキーパーの養成にあたっては、自分や家族の生活を犠牲にするような寄り添いに陥らない関係作りの重要性を伝えて頂きたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困った方に寄り添う際に適切な距離をもつことは関係性を維持するためにも重要です。健康課において、心の問題を抱えている方からの相談では、相談時間を決めたり約束を取り付けて実施するよう心がけています。</li> <li>・支援される方が無理のない範囲で支援を行うことについては、今回作成したゲートキーパー啓発チラシにも記載しています。引き続きお伝えしていきます。</li> <li>・一方でご指摘のように、身近な市民の方がゲートキーパーとなる際には、心理的・物理的、更に時間的にも近い分、行政の相談窓口以上に支援を求められることがあると思われます。支援者の方が一人で抱え込むことがないよう、支援者の所属部署や健康課への相談を勧めていきます。</li> </ul>
9	<p>【教育委員会指導室の取り組みについて】</p> <p>児童にとって第一のゲートキーパーは担任などの教員である。しかし、教員の休職率の高さが示すように、教員は極めてストレスの大きい状況にある。そこで、学校長はチーム学校（協働・連携）を十分に機能させて、教員個人への過剰負荷を回避するように計らう必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご提案内容を担当課にお伝えいたします。</li> </ul>
10	<p>今後、コロナが終息し落ち着いた後の自殺対策をしっかりと考えて欲しい。職員の方、全体に自殺対策への関心が低いように感じた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺対策庁内連絡会を通じて、周知啓発と意識の高揚を図っていきます。</li> <li>・庁内連絡会を通じて、周知、啓発と意識の高揚を図っていきます。</li> </ul>
11	<p>3年度が取組が順調にできる事を願っております。「思いあい つながり あい 支えあう 笑顔あふれるまち あきる野を目指して」がんばりましょう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本理念の実現に向け事業を実施していきます。</li> </ul>
12	<p>今後もよろしく願いいたします。</p>	